

令和6年4月17日

幹事 端坂

世話人 大場光記

小山利彦

岩手パーキンソン病友の会
県南地区・すみれ会定例交流会報告書

日 時：令和6年4月17日（水）10：00～12：00

場 所：サン・アビリティー関 多目的ホール

内 容：「井戸端会議」とちょっとだけ花見

会 費：200円

参 加：7名

世話人 大場光記 小山利彦 奥州市の交流会に初参加の会員で今回2回目の参加1名
(KH)、会員 (IH)、会員 (IY)、家族 (AK)、端坂 (記)

1. 世話人あいさつ（大場光記）

2. 端坂幹事から

・総会について

5月19日（日）ふれあいランド岩手 10：00～12：00で開催する。総会資料は4月末に全会員に配布します。意見等ありましたら連絡ください。本来は総会欠席の場合は委任状を提出していただく必要がありますが、委任状の提出がない場合は承認されたものと判断させていただきます

・北海道・東北6県交流会について

岩手県支部が主催し、10月19日（土）～20日（日）花巻市 山の神温泉「優香苑」で行います。岩手医科大学付属病院 教授 前田哲也先生の医療講演を予定しています。後資料を送付するので参加に検討をよろしくお願いします。

3. 近況報告（自己紹介）

(IH) さん：一関市広報掲載の交流会に参加した。参加する前はパーキンソン病であることを知られたいくなかった。交流会で同じパーキンソン病でありながら、明るく交流している皆さんの姿を見てパーキンソン病を知られたいくないとの考えが消えて楽に生活できるようになった。交流会で皆さんの話を聞いて参考になっている。リウマチ他の病気もあり、薬を10錠位飲んでいるが問題ないか？

端坂：医師は薬の飲み合わせを考慮して処方しているので問題はないと思う。パーキンソン病同様他の病気もしっかり治療してください。パーキンソン病の主治医のいる病院で他の病気も治療するのが、理想的だができない場合はパーキンソン病であることを伝えた方が他の病気の治療もスムーズにいくことが多い。

(IY) さん：私も甲状腺疾患や腰痛などパーキンソン病以外の病気を多く抱えている。
腰痛の場合はパーキンソン病主治医のいる病院以外で治療していたが、症状が良くならなかったが、東北大学病院でパーキンソン病と一緒に腰痛の治療をしてもらったら、腰痛がよくなった。

(AK) さん：パーキンソン病の患者である夫が前立腺癌で入院して放射線治療、抗がん剤治療を受けているが、予定より治療が長引いている。嚥下障害がでているが、主治医から何故嚥下障害がでていないのか説明がない。パーキンソン病の影響なのか？

端坂　　：入院前（前立腺癌の治療を受ける前）は嚥下障害がなかったことから考えるとパーキンソン病の影響とは考えにくい

(KH) さん：パーキンソン病と診断されてから2年目である。話をしようとすると言葉が、でなくなることもあり困っている。

端坂　　：他者のペースに合わせて話そうとすることがプレッシャーになっているのではないか？周りの人（特に交流会参加者は）早く話して欲しいとおもっていないので自分のペースで話せばよいと思う。また、言葉がでなくなることがトラウマになっている可能性もあるので、言葉がでなくなったら焦らずに一呼吸おき、言葉がでるまで待つこと。そうやって「言葉がでなくなる」という失敗経験を成功経験に変えていけばよいと思うと伝えました。

4. 花見

桜の花が散っていたことと、雨であったことから外ではなく室内で美味しい団子をいただいた。

5. その他

奥州市の（KH）さんは毎回交流会に参加するつもりだそうです

会員の家族（OT）さんは患者である旦那さんが入院したこともあり、バタバタしていて時間を間違えて解散したあとに玄関で会いました。